

## 令和3年度 指定管理者年度評価シート

## 1 基本情報

施設名称	母子・父子福祉センター 大阪市立愛光会館
施設所管課・担当	こども青少年局子育て支援部こども家庭課ひとり親等支援グループ
条例上の設置目的	母子家庭の母及び父子家庭の父並びに寡婦の経済的自立を助長し、その福祉を増進するとともに、その扶養する児童の健全な育成に資することを目的とする。
業務の概要	① 職業技術指導（大阪市ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業） ② 講演会、講習会その他教養講座の開催 ③ ひとり親家庭等に対する各種相談事業 ④ 会館の使用申請の受付・許可 ⑤ 会館及びひとり親家庭等支援制度に関する広報・啓発
成果指標	令和3年度からの指定管理者募集における法人提案から次のとおり年度協定において設定。 (1)ひとり親ニーズへの対応満足度（アンケートにより測定） (2)就業・自立支援に対する対応満足度（アンケートにより測定） (3)就業・自立支援において適切に対応できた割合（事業実績による自己測定）
数値目標	(1)～(3)においてそれぞれ90%以上を目標として設定。
指定管理者名	公益社団法人 大阪市ひとり親家庭福祉連合会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

## 2 管理運営の成果・実績

成果指標	(1)	(2)	(3)
数値目標	90%	90%	90%
年度実績	93.2%	92.0%	96.6%
達成率	103.6%	102.2%	107.3%

## 利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	7,021	5,862	1,159
稼働率	9.1%	9.8%	-0.7%

## 3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	102,276,483	96,984,804	-8,036,517	講習会実施経費の微減及び人件費や修繕費等において不用額が生じた
	計画	110,313,000	112,688,000		
利用料金収入	実績	0	0	0	貸室事業は行っているが、無料のため
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入）	実績	11,033	0	-33,967	自動販売機設置事業
	計画	45,000	0		
合計	実績	102,287,516	96,984,804	-8,070,484	
	計画	110,358,000	112,688,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	53,967,044	74,995,865	-2,345,956	超過勤務手当等の減による
	計画	56,313,000	77,002,000		
物件費	実績	48,309,439	21,988,939	-5,690,561	講習会実施経費の微減及び修繕費等において不用額が生じた
	計画	54,000,000	35,686,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	42,888	0	-2,112	自動販売機設置事業
	計画	45,000	0		
合計	実績	102,319,371	96,984,804	-8,038,629	
	計画	110,358,000	112,688,000		

## 令和3年度 指定管理者年度評価シート

## 4 管理運営状況の評価（1次評価）

## (1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
(1)	103.6%	B	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、各種事業に参加できた対象者からは感謝の声が多くあり、ニーズにマッチした事業展開が出来ていたと評価する。
(2)	102.2%	B	求人数の減少など就労支援の難易度が高い状況であったが、利用者からの満足度は高く適切に対応できていたと評価する。
(3)	107.3%	B	新たな指標として、各支援対象者個人に着目してその支援進捗度で測定した。結果として、各ステージに応じた支援が提供できていることは評価できる。

## (2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
デマンドを確認しながら、電気使用量の抑制に努めるとともに、ペーパーレスに努めた。	A	新型コロナウイルスによる府民への要請などを踏まえた事業展開と必要があるところ、適宜事業の中止や縮小等について対応を行った結果経費支出の適正化が行われた。

## (3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	老朽化が進む施設であるが、早期及び予防の修繕対応により円滑に会館運営されている。
事業計画の実施状況	B	新型コロナ対策は昨年度から継続しているが、事業の実施可否について検討を重ね、可能な範囲で事業実施に取り組みひとり親支援事業を十分に実施することができた。
施設の有効利用	A	NPO法人が実施するひとり親向け食料品・日用品の配布会等について愛光会館を活用して実施した。
社会的責任・市の施策との整合性	A	新型コロナウイルスで困窮しているひとり親世帯に食材を配布する「応援ボックス」事業を昨年度に引き続き実施するなど、施設の目的を十分に達成してくれた。

## 5 利用者ニーズ・満足度等

<p>講習会受講者に対するアンケート等を通じて、講習会メニューの見直しを行うなど利用者ニーズの積極的な把握に努めていた。また、施設内に自動販売機を設置してほしいという要望について、検討の結果、令和3年7月より設置された。</p> <p>「応援ボックス事業」については令和3年度をもって終了されたが、今後は食料品や日用品をひとり親家庭向けに配布活動されているNPO法人と連携し、同様のニーズ充足に向け取り組みを展開されるとのこと。</p> <p>各種事業に対する利用者満足度は概ね高い状況にある。</p>
---

## 6 外部専門家意見

<p>・感染症下で対面での講座や相談に制限がある中で、利用された方々の満足度が高いのは、十分に評価できると思います。今回、修繕費の不要費が出たと言うことですが、老朽化が進む建物ということで、計画的な計画が求められると思います。市の評価は妥当かと考えます。</p> <p>・利用者の声を受けて館内に自販機を設置するなど、ニーズに応じた取り組みは評価できる。今後もこうしたニーズ把握ができる仕組みを作るなど努めてもらいたい。</p> <p>・コロナ禍において、講座・研修会を対面とオンラインの両方実施するなど工夫は評価できる。ニーズがあれば、オンラインのみの開催、オンデマンド型の研修会などの検討をしてみてはどうか。</p> <p>・利用状況について前年度より大幅増加している点は評価できる。これに加えて、父子世帯のニーズの把握、利用者増に向けた取り組みも必要ではないか。</p>
--

## 7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	感染症下での取り組みは評価できる。

令和3年度 指定管理者年度評価シート

市費の縮減	B	自動販売機設置事業は、来館者が増えるまで厳しいかも知れないが、今後新型コロナウイルスが終息に近付いていくにつれて収支は改善する可能性もあることから、利用者利便性の観点から継続されたい。
管理運営の履行状況	A	今後とも「ひとり親家庭のニーズ」に反応して事業展開をされたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B+	